

令和5年度 学校評価

西条市立河北中学校

評価方法：本校教育の重点項目ごとにアンケートを実施し、その結果に対して考察し、改善策を検討しました。

調査対象：河北中学校生徒、保護者、教員

実施時期：生徒及び教員は7月(1学期末)及び12月(2学期末)、保護者は12月(2学期末)

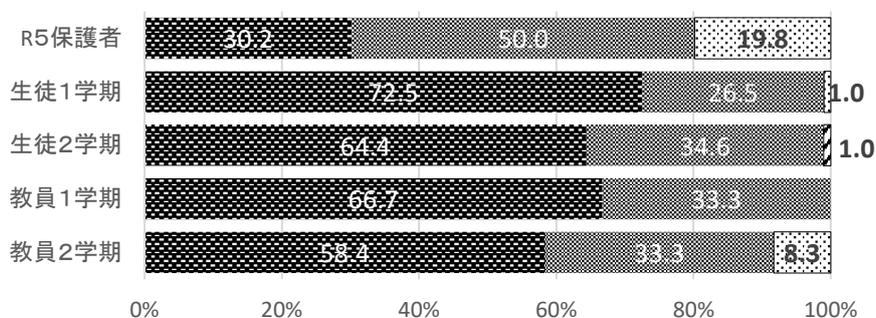
回収率：生徒96.7%、保護者87.6%、教員100%

1 生徒及び教員(7月及び12月)、保護者対象のアンケート(12月)結果の比較と考察

(1) 確かな学力の定着と向上

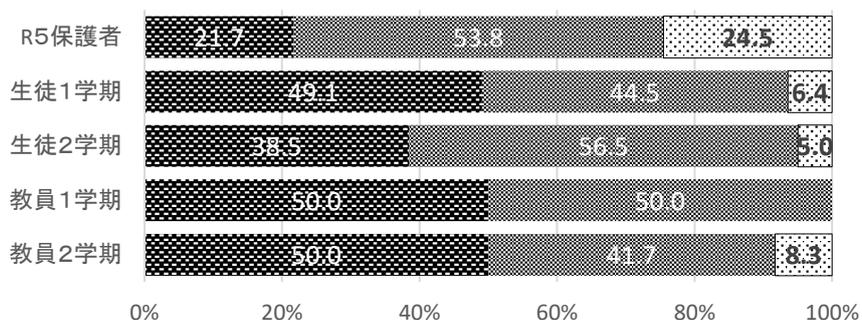
<考察と改善策1>

1 学力の定着・向上を図る指導ができていると思いますか。



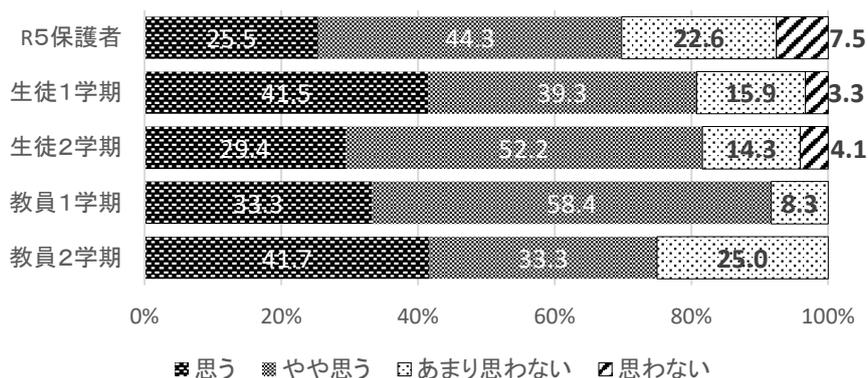
「思う」と「やや思う」を合わせると、生徒の約99%が肯定的な回答でした。一方、保護者の約20%が否定的な回答をしていることから、今まで以上に個に応じたきめ細やかな支援により、学力の定着・向上に努めるとともに、学校の教育活動についての周知に努め、学校と保護者が一丸となった学習指導体制を整えます。

2 「分かる・できる・楽しい授業」が行われていると思いますか。



「思う」と「やや思う」を合わせると、生徒の約95%、保護者の約75%は肯定的な回答でした。今後も生徒が学んだ成果を実感し、更に楽しく授業を受けられるよう、「授業のねらい」や「展開」の明示、ICTの活用も含めた教材や教具の工夫をするなど、授業改善に努めます。

3 家庭学習の習慣が身に付いていると思いますか。

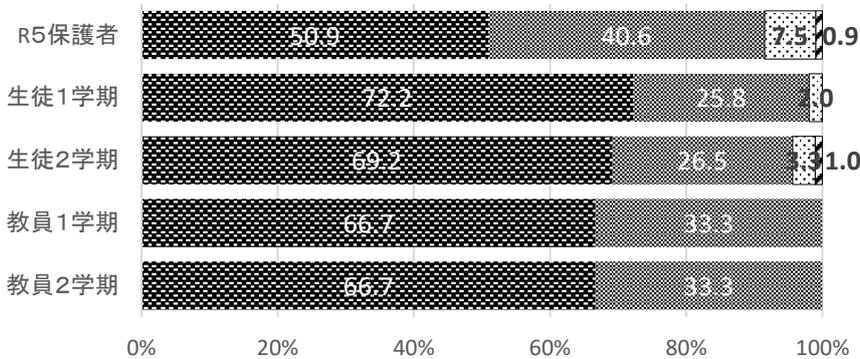


学校での授業と「自主学習ノート」への取組による家庭学習の習慣化により、「学力の定着・向上」や「わかる」授業につながる好循環ができています。分からないことを気軽に聞ける学習相談にも取り組んでいます。保護者の皆様も、お子様の学習面でご相談等がございましたら、いつでもご連絡ください。

(2) 豊かな心と健やかな体の育成

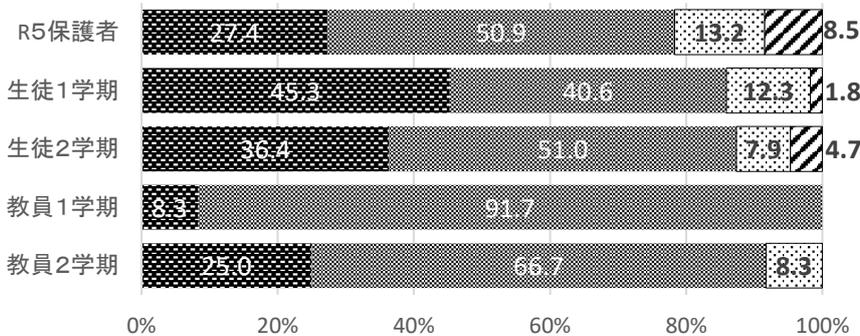
<考察と改善策2>

4 時間や学校の規則を守れていると思いますか。



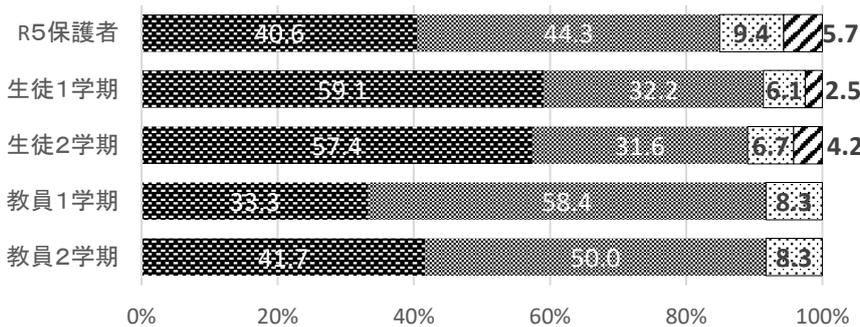
生徒の約96%、保護者の役92%が肯定的な回答であり、生徒は高い規範意識のもとで生活していることが分かります。今後も落ち着いた雰囲気の中で学校生活を送ることができるよう、生徒の自主性や自律性を養うよう努めます。また、不規則な生活が見られる生徒については、保護者と連携を図りながら個別の生活指導に努めます。

5 気持ちのよい挨拶ができていますか。



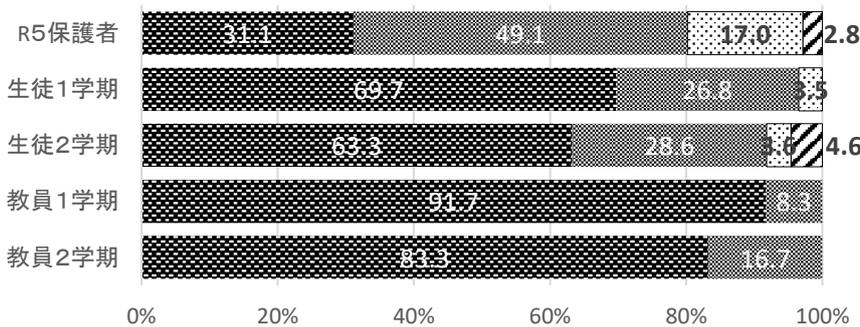
生徒、保護者とも、20%近くが否定的な回答でした。今後は、生徒会による挨拶運動などの生徒主体の活動や、部活動も含めた様々な場面で挨拶の大切さについて指導により、習慣化に努めます。

6 部活動は充実し、休養も取れていると思いますか。



生徒の約89%、保護者の約85%が肯定的な回答でした。保護者の皆様のご協力により、充実した部活動となっている結果と言えます。今後も、生徒の心身への負担や人間関係に配慮するとともに、ガイドラインを守りながら、限られた時間や場所を有効に活用して、生徒が成長できるよう努めます。

7 学校はいじめのない仲間づくりに取り組んでいると思いますか。



生徒の約96%が肯定的な回答でしたが、否定的な回答も少なからずいます。毎月の生徒調査や学期ごとの教育相談、生徒会の「河北中学校いじめ撲滅宣言」等の取組、スクールカウンセラー等との連携による相談体制の充実の結果と思います。

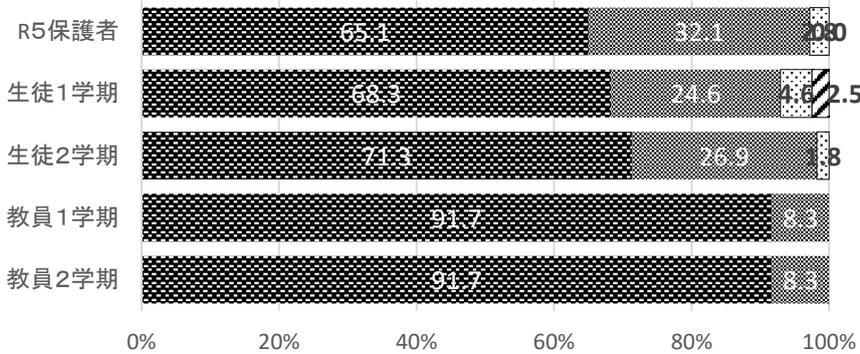
今後は、全ての生徒が「居場所がある」と感じ、安心して過ごせる学校、学級にするために、積極的な教育相談や学級指導、道徳の授業の充実などを図ります。

■思う ■やや思う □あまり思わない ▣思わない

(3) 家庭・地域との連携・協働

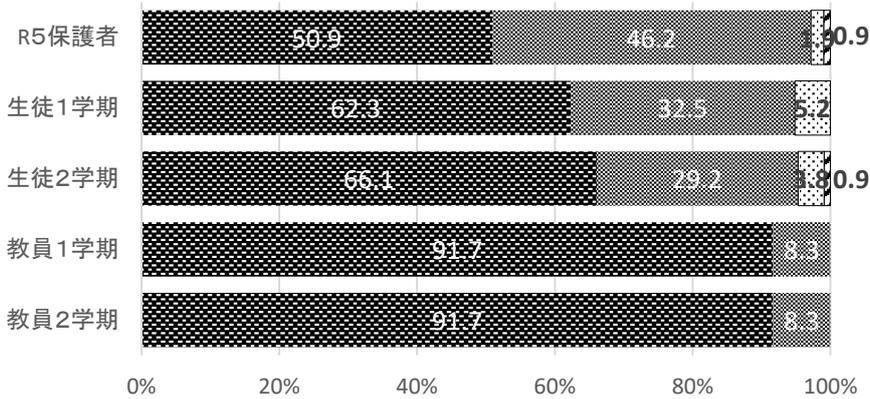
<考察と改善策3>

8 学校は、安全に配慮しながら、充実したものになっていると思いますか。



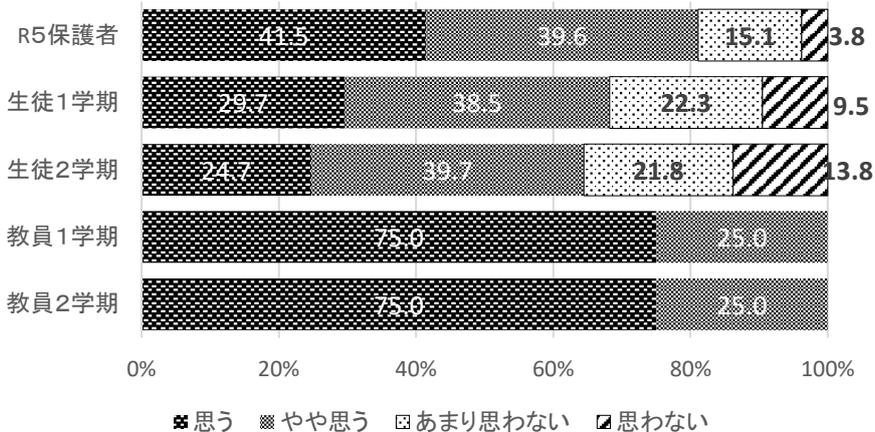
生徒、保護者とも約98%が肯定的な回答でした。ウィズコロナへの対応や、熱中症対策をしつつ実施した学校行事や、日頃の感染防止対策が保護者の皆様からご理解を得ている結果と考えます。今後も、感染防止対策や施設の安全点検を徹底し、生徒の健康や安全を第一に考えて取り組みます。

9 学校は、適切に情報を発信していると思いますか。



生徒の約94%、保護者の約97%が肯定的な回答でした。学校ホームページ内で「河北中学校日記」や「学校だより」等随時更新したことや、学級通信等を定期的に配付したことがご理解いただけた結果と思われます。また、マチコミメールなど即時性の高い情報伝達手段の活用によるものと思います。今後も、家庭や地域に向けて積極的な情報発信に努めます。

10 先生は気軽に相談できていますか。(生徒の声に耳を傾けていますか。)



教員は100%が肯定的な回答であるのに対し、「先生に気軽に相談できていますか」の質問に生徒の約36%、保護者の約19%が否定的な回答をしています。今後は、生徒の機微の心の変化を受け止め、適切に対応できるよう、日頃から温かく相談しやすい雰囲気づくりに努めるとともに、スクールカウンセラーとの連携や教育相談、学習相談などの相談活動の充実になお一層努めます。保護者の皆様もお子様の学校生活についてご質問等がございましたら、いつでもご連絡ください。

2 学校評価者の意見（自由記述）（○印…肯定的な意見等、●印…改善を求める意見等）

(1) 確かな学力の定着と向上について

ア 授業や家庭学習について

<生徒の意見>

- どの授業も楽しく、先生も分かりやすい授業をしてくれている。これからも、続けてほしいです。
- 発表回数もとても多く、充実していると思います。
- 入試への対策など分かりやすく教えてください。
- 分かりにくい教科がある。
- ペースをゆっくりして、誰でも分かるようにしてほしい。
- テスト返し後、成績の悪い生徒への補習をしてほしいです。

<保護者の意見>

- 各教科の個別教育など人数が少ないからこそできることが増えれば魅力的な学校になると思います。

「授業のめあて」や「展開」を明示し、生徒が見通しを持って授業に臨めるよう、授業改善に努めます。また、ICTの活用により習熟度を確認しながら個に応じた支援を行います。

イ ICTの活用について

<生徒の意見>

- テストを紙にしてほしいです。

定期テスト等を一部教科でC B T (Computer Based Testing コンピュータ上で実施される試験)化しています。教科によっては、資料の配置などの都合により、紙のテストより解きにくい場合があります。また、タイピングなどのスキルが未熟なものについても、C B Tにより誤答につながる場合があります。今後、学校や社会で活用機会が多くなるシステムですので、テストの内容や生徒の状況を確認しながら導入を進めていきたいと思っています。

(2) 豊かな心と健やかな体の育成について

ア 部活動について

<保護者の意見>

- 部活動においては、少人数の部活に所属する生徒に対し、不安なく活動することができる場を考え選択していただき感謝しています。これからどんどん人数が減っていくようですが、少ない人数の中でも子どもたちが充実した中学校生活を送れるよう保護者も協力していきたいと思っています。
- 部活動の選択肢がどんどん狭くなっていくことに不安を感じます。子供たちの可能性を広げていけるような場であってほしいと願います。
- クラブチームに所属しているので日曜日の参観日は正直、困ります。また資源回収も参観日も大会と重なっていて、勝敗次第で出欠を考えなければいけない。
- 部活前の着替えの場所を確保していただきたいです。グラウンドや通路で着替えています。真冬は寒いですし、悪天候のときは制服が汚れます。

校内に、部活動再編部会を立ち上げ、部活動の数や運営の見直しを適宜行っています。他校との合同チームを編成したり拠点校部活動制を活用したりして、可能な限り生徒の希望を叶えるようにしています。部活動の地域移行についても近隣の学校や団体と調整を図りながら、スポーツや文化活動を通じた健全育成に努めます。また、学校行事の計画、学校施設の適切な使用、活動時間の設定などについて、関係者のご意見をお伺いしながら、適宜、検討していきます。

イ いじめのない仲間づくりについて

<生徒の意見>

- いじめをなくすために、交流などしたら良いと思う。誰とでも仲良くすることが必要。
- 昼休みに体育館や運動場が使えると、皆楽しいし、より良い学校にもできると思う。

今年度初めに、生徒会を中心に全校集会を行い、全校生徒が交流できる活動を行いました。また、体育館の使用については、「生徒会申合せ事項」の改正などと共に生徒評議員会で審議をしました。学校による指導だけではなく、生徒を主体とした活動を活性化させることを通して、自分たちの自発的な仲間づくりにより、より良い学校になるよう努めます。

(3) 家庭・地域との連携・協働について

ア 安全に配慮した教育活動や情報発信について

<保護者の意見>

- 学校行事に関しまして、保護者への伝達が遅く伝達不足の面が多いかと思えます。文化祭では事前の予備日設定も無く、突然の延期となりました。その為、多くの保護者の方は仕事の都合で観覧できていなかったと思えます。
- 文化祭では久しぶりの一日開催を生徒会や3年生中心で盛り上げることができてよかったと思えます。日曜日開催として多くの人に見てほしかったですが、仕方ないです。

インフルエンザの感染拡大のため、文化祭を急遽延期しました。感染症に関する措置ですので、ご理解とご協力をお願いします。今後は、可能な範囲で保護者の方や地域の方も参加しやすい日程調整に努めます。

イ 教育相談について

<保護者の意見>

- 子供は毎日楽しんで通学できており、先生方には感謝しております。先生たちと話しやすい雰囲気、大きな悩みもなく学校に行くのが楽しいと話しています。
- いろいろと相談に乗ってくれて助かっている。話しやすい先生をアンケートで選び、面談を行なったことも、今後、子供たちがより、いろいろと相談の場ができて良いと思った。
- 男子と女子の扱いに差があるそうです。平等に接してもらいたいです。
- 子供の気持ちに寄り添って、相談しやすい環境をつくって欲しい。

<教員の意見>

- 先生方が、生徒に寄り添って話を聴くことで、よりよい河北中学校になっていくと思う。

教職員の対応に問題はないか、指導や相談体制を再度確認するなどセルフチェックに努めます。また、日頃から温かく相談しやすい雰囲気づくりに努めるとともに、スクールカウンセラーとの連携や教育相談、学習相談などの相談活動の充実になお一層努めます。お子様の学校生活についてご質問等がございましたら、いつでもご連絡ください。

(4) その他

ア 制服について

<生徒の意見>

- 校則をもう少し変えてほしい。女子でも気軽にズボンをはけるようにしてほしい。

制服検討委員会を立ち上げ、昨年12月より、(男女問わず)ズボンの着用を可能としています。引き続き、制服の全面改定も含め、社会の要請や生徒、保護者の皆様のご意見を踏まえながら検討していきます。

3 学校運営協議会運営委員の意見 (○印…肯定的な意見等、●印…改善を求める意見等)

学校の取組や学校評価の説明、授業参観後に、運営委員の皆様からご意見をいただきました。

(1) 確かな学力の定着と向上について

授業や家庭学習、ICTの活用について

- どの授業も、みんな真剣、一生懸命で感動した。音楽は、とても楽しそうでした。
- Wi-Fi環境がない家庭は、どうしているのか。困る家庭があるのではないかな。

一部、整っていない家庭がありました。現在、長期休業中に課題をタブレット端末で解答させる教科もあるが、特に支障はない。スマホのテザリングなどで対応してくださっている。臨時休業等における家庭学習を保障するために、今後も協力をお願いします。

(2) 豊かな心と健やかな体の育成について

部活動について

- 部活動が地域に移管することで、選択肢が増えてよいと思うが、活動時間などに目が届きにくくなるのではないかな。

市教育委員会がシステムを整えていくこととなります。平日は学校での活動で、土日が地域となる方向である。サッカーは、今治や地元のチームがあるが、それ以外はボランティアでやってくださる人もなく、種目によって状況が異なるのが現状です。

従来、河北中学校では、全員が学校の部活動に入ることとしていましたが、令和5年度よりバドミントンなど、校内の部に入らなくてもよいこととしました。基本的には学校の部活動ですが、軟式野球部の合同チームや女子ソフトテニスの拠点校部活動制で成果を上げている部もあります。人員の確保も含め、関係機関に要望を行います。

(3) 家庭・地域との連携・協働について

教育相談・スクールカウンセラーについて

- スクールカウンセラーは、多くの利用があるのか。教室に入り辛く、別室で授業を受ける生徒には、どのような対応をしているのか。

相談する生徒も保護者、先生も多いです。秋川先生も相談を受けるだけでなく、積極的に授業観察をするなどしてかかわっていただいています。教員には言いにくいことでも、話しやすく対応してくださっています。別室でタブレット端末で勉強している生徒もいます。生徒の様々な状況に応じて対応するために、人員の確保や支援体制の充実を、関係諸機関と連携しながら進めています。

(4) その他

制服の変更について

- 女子のズボン着用はどのようになっているのか。

制服検討委員会を立ち上げているが、生徒会とも話し合いながら、ブレザーなどにするよう検討していきたいと思います。(以下、前述 2(4)に同じ)

(5) 校長より

学校運営協議会があるように、学校運営についてアイデアをいただきたいと考えています。教員だけでは考えつかないことも多々あります。

先日、「河北学」を実施し、小学校区毎に庄内校区の紫雲丸、三芳校区の地域の歴史、楠河校区のカブトガニなどについて、講師を招いて学習しました。教育目標にもある郷土愛の育成につながると思います。来年度は、地域の方を講師に招きたいので、学校運営委員の方からも、講師について紹介していただけるとありがたいです。子供たちのために、コミュニティ・スクールにつながっていききたいと思います。